

令和2年～

岡田 真由美 さん

水産業について、
みなさんに知ってもらいたいですね。

老後は、海が見える場所で猫と
一緒に暮らしたいね

大船渡に来る前は

夫婦2人と一人娘の3人家族。

転勤族の夫とともに神奈川、福島、
岩手、と暮らしてきました。

娘の高校3年間で盛岡市で暮らして
いましたが、夫婦2人だけの生活にな
る娘の大学入学を前に、老後の話など
をしていました。

海が好きで、魚介類が大好物。釣り
が趣味な夫とは、よく「海が見える場
所で、猫と一緒に暮らしたいね」と話
していました。



現在 SNS で「水産のまち大船渡」と
「漁家への道」を発信中です！

Facebook：大船渡地域おこし協力隊

Instagram：@ofunato_suisan_chiikiokosi

是非、ご覧くださいね！

大丈夫、大丈夫
心配ないよ



いいんじゃない？

ある日、夫から「退職して漁業を始めたい」といわ
れました。

夫婦のこれまでの会話の中に、第一次産業をするな
ら漁業がいいという話題もよくでていたので、驚きは
しませんでした。

「いいんじゃない？」と。

働くのは夫であり、私ではない。子どもへの責任を
果たしたら、やりたいことをやればいい。そう思いま
した。一人娘の反応も、これまた「いいんじゃない？」
とのこと。

家族は信頼しあっていて、とても仲がよいのです。

とはいえ。

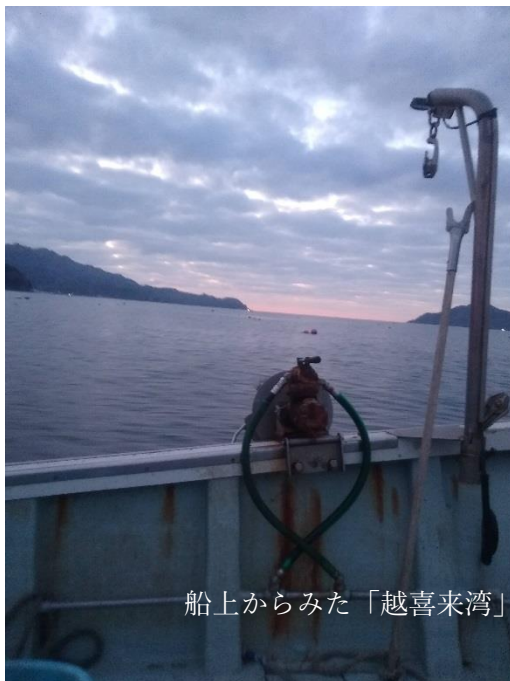
私は実父が早くに他界したこともあり、母には「やり残したことがないように生きなさい」といわれて育ちました。

ちょうど、今の夫と同じくらいの年齢で亡くなったことも、影響していると思います。

夫も私も東京都出身。お互いの実家へ伝えるときは反対されるかなと内心思っていたのですが、どちらの実家も快く背中を押してくれました。

私の実家にいたっては「楽しそう」「漁師のほうがあっているのでは？」と笑ったくらい。

快く送り出してくれることのありがたさを感じましたね。



船上からみた「越喜来湾」

漁業をやる！と決めてからは

夫が片っ端から情報収集しました。

県や国のサイトや、相談会など。漁業就業支援フェアには私も同行しました。

夫は漁業の中でも「養殖」をやりたいと決めていました。そして、どちらかの団体に入る就業型ではなく「独立型」。それが決まれば自ずと三大漁場とうたわれる「三陸海岸」しかない。

なにしろ、私たち夫婦は魚介類が大好き。

特に貝類！私は「カキ」で夫は「ホタテ」。

好きなものを生産できる、そして提供して、喜ばれる。なんて素敵な仕事だろうと思いますね。

ちょうど

岩手県沿岸の行政や団体にも問い合わせ、情報収集しました。

その中で、一番親切に、熱心に対応してくださった大船渡市へ決めることになるのですが、ちょうど、4月から採用される「地域おこし協力隊」の募集情報も提供してくださったのです。それも水産関係の活動。夫と一緒に漁業に従事して活動できる内容でした。情報はタイミングもあると思いますが、本当にご縁とありがたさを感じましたね。

大船渡の第一次産業の「漁業を通じて地域振興がしたい！」

熱意と覚悟が強くなった瞬間でした。

不安を考えればきりがない

それよりも「わくわく」感が勝ってしまった！

「都会から田舎に引っ越すのは不安じゃなかったの？」

「なんで、わざわざ退職してまで引っ越すの？」

とよく聞かれました。

マイナスばかりを思い描いていても楽しくないですし、チャレンジしても失敗するのが当たり前。

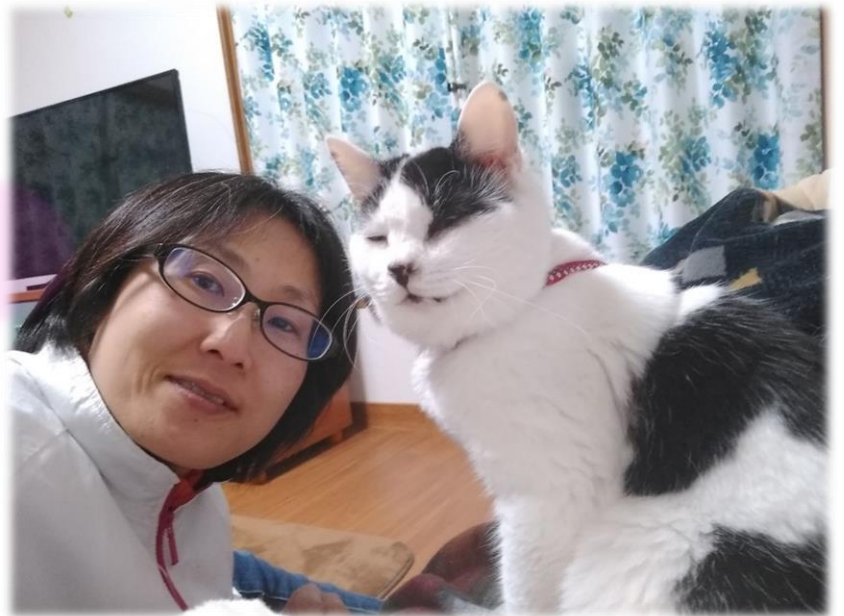
私の場合は、どちらがより楽しめる人生か。

シンプルにそれだけ。

チャレンジしなくたって失敗は
するのに。

失敗したら、その中から学び、よ
りよい方向へ舵を切る。

それだけのことだと思いますね。



移住するにあたって

ふたつ、課題がありました。

住居のことと、お金のこと。

住まいは、住みたい場所に空き家バンクの物件がなく、なかなか見つけれずにいましたが、夫が師事している親方の借家をお借りできたことで、当面の間は解決しました。

もうひとつのお金のことは、やはり悩ましい問題です。

夫の場合、「いわて水産アカデミー」に入り本来ならば支援金として給付していただけるものが年齢制限の対象外であったことが一番の痛手でした。

そして引っ越し費用や生活費、健康保険に年金、税金と予想以上にかかりました。独立して養殖漁家を目指しているので、独立に向けた費用、独立後の費用、生活などがこれからもかかります。

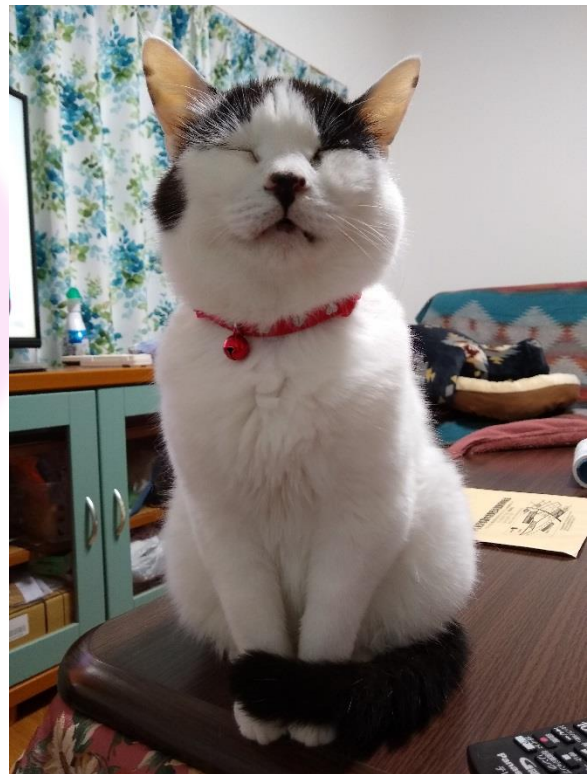
予測はしてきたものの、想定外もあり、切り崩しながら現在頑張っています。

太陽が昇れば起き
太陽が沈めば、寝る

海を見ながら、
傍らに猫がいる。

私たちにとって理想の暮らしがここに
ありました。

夫は、時間があくと家事をしてくれるよ
うになりました。そして、健康的な生活を送
っているせいか体調もいいようです。



夫は夜早く就寝するので、空いた時間に家事や仕事から離れ、趣味の手芸に打ち込みます。
自分時間をゆったりとり、
自分のペースで暮らしています。
これからも漁業という仕事も楽しみながら
好きなことに忠実にチャレンジしていきたいです。



ハンドメイド作品

ご近所付き合い

地域の集いや、清掃活動などを通じて顔をおぼえるところからスタート。私を含め、日中働いている方が多いせいか、なかなか顔と名前が一致しないのが現実です。あいさつは必ずするように心がけています。



海を眺め、至福の一杯

うに丼



ついに！

我が家に強い味方が！

刈払機を購入しました！

もっぱら、草刈りの担当は「夫」ですが、これまで集合住宅に住んでいたのも、一軒家の草刈りがこれだけ重労働とは！知りませんでした。

不便は感じないですね

スーパーが1軒、コンビニエンスストアが1軒しかありませんが、車で20分ほどの大型スーパーへ、週に2回ほど「まとめ買い」をしています。足りないものは、その都度、近所のスーパー等で買い足ししています。

牡蠣飯



洗濯ものは？ 冬は？

海に近いところで生活しているため、洗濯ものはカラッと乾いてくれませんね。夕方まで干さず、昼過ぎには部屋干ししています。

海辺あるあるなのかもしれませんね。

比較的過ごしやすい気候ですが、今年は長雨の影響か、カビが発生し、洋服にもカビが！これは、この地域に限らず、全国的にそうだったのでしょうか。

内陸部よりも過ごしやすいといわれる「冬」ですが、寒さや、路面の凍結、雪の状況など、私たちもこれから初体験です♪

移住を考えている方へ

地方にいてもこれからは仕事ができる世の中になり、移住という選択肢も選びやすいものになるのではないのでしょうか。

大船渡での暮らしはとっても快適です。ただ、大船渡に限らず、どこに移住したとしても「移動手段の車」「地域に入り込むコミュニケーション力」「周りのことに一喜一憂しない鈍感力」。この3つは最低限必要だと思います。



殻剥きホヤ



牡蠣オイル漬け



蒸し牡蠣

これから

今まで私たち夫婦と巡り合い、移住や転職等にご尽力いただいた方々に感謝して、これから漁業と、この地域に根をはっていかうと思っています。

もし、私たちのように移住される方が、そういった方と巡り合える、繋がれる何か仕組みがあれば、きっと安心して地域に溶け込んでいけると思うのです。

将来は、微力ながらそういった方々へ、私たち夫婦がみなさんにしてもらったように、何か手助けができればいいなと思っています。



夫婦仲良く